

パッククッキング

災害時・緊急時に役立つ!

★パッククッキングとは?

考案者は山崎幸江さん。介護が必要な高齢者はもとより、元気な高齢者、単身赴任や子育て中の方にも役立つ他、災害時・緊急時に威力を発揮します。

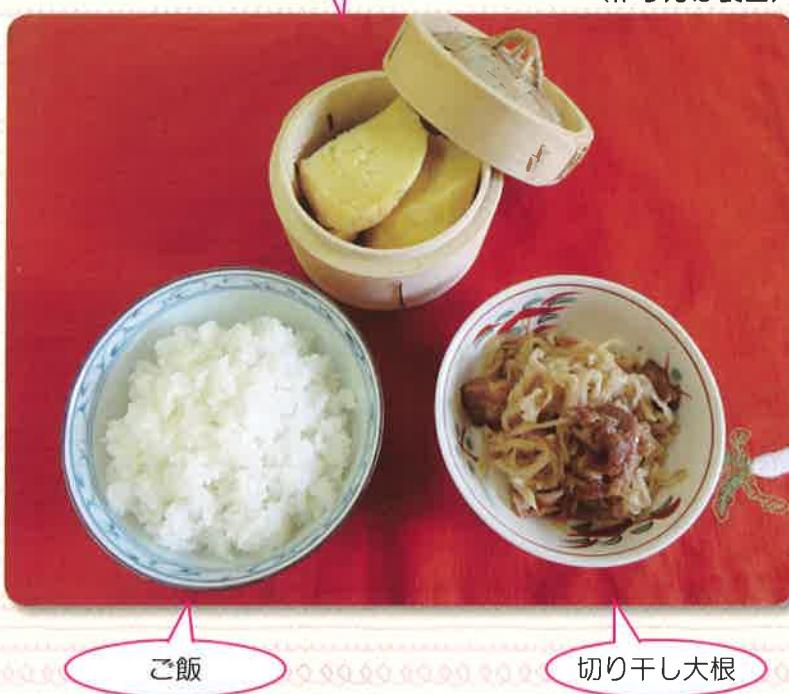
ベースはフランス料理シェフ、川平秀一さんが考案した家庭版真空調理です。真空調理はもともとヨーロッパで普及しており、パッククッキングはこの真空調理の応用です。

★基本の手順

- ① 食材と調味料を適当な大きさにしてポリ袋に入れる
- ② 鍋に水を入れて、その中にポリ袋に入れた食材を沈めながら、袋の中の空気を抜く（脱気）
- ③ 脱気したらポリ袋を上のほうで固く縛る
- ④ 水の入った鍋に③のポリ袋を入れ、火をつける
- ⑤ 沸騰してたら火を弱め、食材により20～40分加熱し、鍋から取り出す



（パッククッキングに使用する袋の注意点）
高密度ポリエチレン袋（半透明）を使用する
（『まち』がないほうが扱いやすい）



★パッククッキングの利点

- ・栄養成分、うま味、風味などの調理損失が少ない
- ・真空なので熱が伝わりやすくなる、加熱ムラが少ない
- ・1～2人分調理なので皿や容器がいらず、後片付けがラク
- ・1つの鍋で何品も調理ができる
- ・煮崩れしにくい
- ・そのまま冷凍保存ができる
- ・温かいまますぐ食べることができる
- ・料理の個別対応ができる

パッククッキング

材料 2～3人分

パッククッキングのご飯

無洗米 1合：でき上がり約350g
 水 220cc

- ① ポリ袋に無洗米と水を入れる。
- ② 脱気し、袋の上のほうを縛る。
- ③ 水の状態から鍋の中にポリ袋を入れる。
- ④ 沸騰したら、弱火にして40分加熱する。

1袋分栄養価	
エネルギー	545 kcal
たんぱく質	9.3 g
脂質	1.4 g
炭水化物	118 g
塩分	0 g

材料 2～3人分

パッククッキングの切り干し大根

焼き鳥の缶詰 1缶 (85g)
 切り干し大根 1/2袋 (15g)
 水 切干大根の5倍量 (75cc)

- ① 焼鳥（汁ごと）と切干大根（乾燥）、分量の水をポリ袋に入れる。
※好みに合わせて調味料を足す場合、この段階で入れないと調整ができないので注意。
- ② 脱気し、水の状態から鍋に入れる。
- ③ 硬さは好みによるが、沸騰後弱火で20～25分の加熱がめやす。

1袋分栄養価	
エネルギー	192 kcal
たんぱく質	16.5 g
脂質	6.7 g
炭水化物	17.1 g
塩分	2.0 g

材料 4～5人分

パッククッキングの蒸しパン

ホットケーキミックス 100g (1カップ)
 卵 1個
 野菜ジュース 100cc (1/2カップ)
 バター 10g (大さじ1弱)
 スキムミルク 30g (1/3カップ)
 コンデンスマilk 30g (大さじ1と1/2)

1袋分栄養価	
エネルギー	745 kcal
たんぱく質	27.4 g
脂質	20.6 g
炭水化物	111.8 g
塩分	2.5 g

- ① 材料をすべてポリ袋に入れ、ムラができるないようによく混ぜる。
- ② 脱気し、水の状態から鍋に入れる。
- ③ 沸騰したら、弱火にして40分加熱する。

パッククッキングでこんなこと



災害時は飲料水ではない水を鍋にはって作れます。

